

【課題01】CSVファイル出力プログラム_課題



■ 課題内容

「実行」ボタンを押下した時に、課題のコメントをもとに次の条件で動くプログラムを組んでください。コメントとの差異があっても、結果的に動作するのであれば問題ございません。

1. 「C:\test」フォルダに「社員情報一覧.csv」という名称のファイルが存在した場合は、削除する。
※「C:\test」フォルダは、事前に手動で作成しておくこと。
2. 「社員情報一覧」の内容を「社員情報一覧.csv」という名称のCSVファイルに書き込み、「C:\test」フォルダに出力する。「社員情報一覧.csv」の内容は、次の条件で書き込む。
 - ・先頭にタイトル行として「社員番号、社員名、役職、性別、生年月日、所属部、備考」を出力する。
 - ・データ行として「社員番号、社員名、役職、性別、生年月日、所属部、備考」のデータを出力する。
 - ・「性別」は、1=男性、2=女性、3=法人に変換して出力する。

■ 社員情報一覧

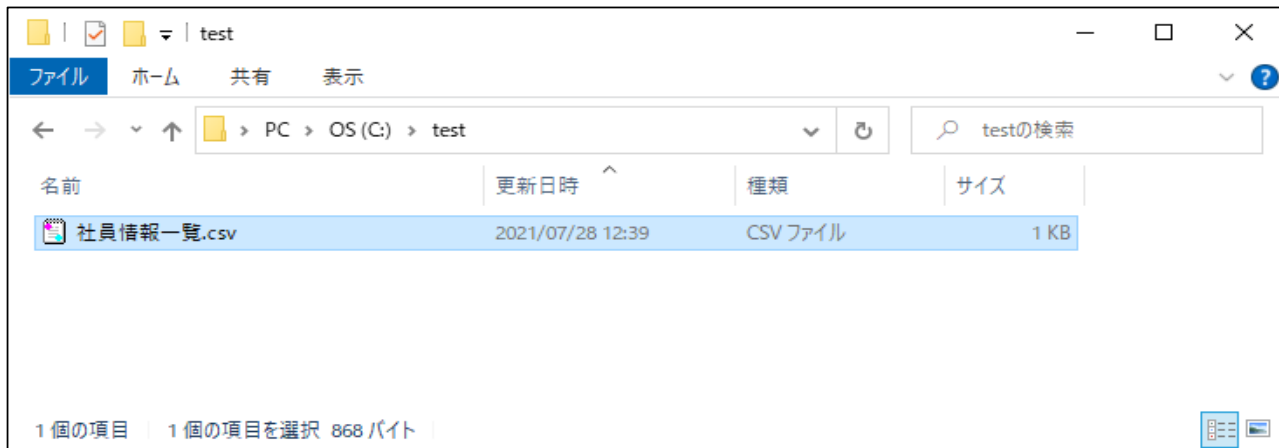
社員番号	社員名	役職	性別	生年月日	所属部	備考
1001	社員A	一般	1	1990年10月29日	1部	資格保持
1002	社員B	一般	1	1987年3月25日	1部	
1003	社員C	一般	2	1983年6月20日	3部	
1004	社員D	主任	2	1979年1月13日	5部	
1005	社員E	主任	1	1998年4月9日	3部	
1006	社員F	一般	1	2001年5月10日	4部	
1007	社員G	主任	1	2003年7月3日	2部	資格保持
1008	社員H	主任	1	2005年8月8日	3部	
1009	社員I	主任	3	1993年2月22日	4部	
1010	社員J	主任	3	1995年4月24日	2部	
1011	社員K	課長	3	1999年11月11日	1部	
1012	社員L	主任	2	1994年5月5日	2部	
1013	社員M	主任	2	1998年1月10日	1部	
1014	社員N	主任	2	1995年5月30日	1部	
1015	社員O	主任	1	2001年6月6日	4部	資格保持
1016	社員P	課長	2	2002年10月14日	5部	資格保持
1017	社員Q	課長	3	2000年7月31日	3部	
1018	社員R	課長	3	1993年6月19日	3部	
1019	社員S	主任	2	1990年2月18日	5部	資格保持
1020	社員T	主任	1	2001年4月28日	5部	

【課題01】CSVファイル出力プログラム_課題



■プログラム実行後イメージ

「C:¥test」に「社員情報一覧.csv」ファイルが作成されていること。



「社員情報一覧.csv」ファイルには下画像と同様の内容が出力されていること。

```
1 社員番号,社員名,役職,性別,生年月日,所属部,備考 ←
2 1001,社員A,一般,男性,1990/10/29,1部,資格保持 ←
3 1002,社員B,一般,男性,1987/03/25,1部, ←
4 1003,社員C,一般,女性,1983/06/20,3部, ←
5 1004,社員D,主任,女性,1979/01/13,5部, ←
6 1005,社員E,主任,男性,1998/04/09,3部, ←
7 1006,社員F,一般,男性,2001/05/10,4部, ←
8 1007,社員G,主任,男性,2003/07/03,2部,資格保持 ←
9 1008,社員H,主任,男性,2005/08/08,3部, ←
10 1009,社員I,主任,法人,1993/02/22,4部, ←
11 1010,社員J,主任,法人,1995/04/24,2部, ←
12 1011,社員K,課長,法人,1999/11/11,1部, ←
13 1012,社員L,主任,女性,1994/05/05,2部, ←
14 1013,社員M,主任,女性,1998/01/10,1部, ←
15 1014,社員N,主任,女性,1995/05/30,1部, ←
16 1015,社員O,主任,男性,2001/06/06,4部,資格保持 ←
17 1016,社員P,課長,女性,2002/10/14,5部,資格保持 ←
18 1017,社員Q,課長,法人,2000/07/31,3部, ←
19 1018,社員R,課長,法人,1993/06/19,3部, ←
20 1019,社員S,主任,女性,1990/02/18,5部,資格保持 ←
21 1020,社員T,主任,男性,2001/04/28,5部, ←
```



■プログラムのコメント

```

' 「Option Explicit」を定義すると未定義の変数が使えなくなる = 変数を使う時は必ず宣言をしなければならない
Option Explicit

' 定数定義
Const ROW_START As Integer = 17
Const FOLDER_OUTPUT_PATH As String = "C:\test\4"
Const FILE_OUTPUT_FILE_NAME As String = "社員情報一覧.csv"
Const MARK_CSV_OUTPUT As String = ","
Const GENDER_MAN As String = "1"
Const GENDER_WOMAN As String = "2"
Const GENDER_COMPANY As String = "3"
Const GENDER_MAN_DISP As String = "男性"
Const GENDER_WOMAN_DISP As String = "女性"
Const GENDER_COMPANY_DISP As String = "法人"

' 開始行番号
' フォルダパス
' ファイル名
' csvファイル区切り文字
' 性別番号
' 性別番号
' 性別番号
' 性別情報
' 性別情報
' 性別情報

' 点数一覧列定義 (列挙型)
Enum EnumCol
colEmpNo = 1 ' 社員番号
colEmpName = 2 ' 社員名
colPosition = 3 ' 役職
colGender = 4 ' 性別
colBirthday = 5 ' 生年月日
colSection = 6 ' 所属部
colRemarks = 7 ' 備考
End Enum

' CSV出力
Sub OutputCsv()
' 変数定義
Dim i As Integer ' ループカウンタ
Dim wshMain As Worksheet ' メインシート

' メインシートを取得

' ファイル存在チェック (CheckFileExist関数を実行した戻り値で判定する)
' ファイルが存在している場合は削除する (DeleteFile関数を実行する)

' 出力ファイルを開く

' 社員情報タイトル出力(固定文字列でよい)

' 社員情報出力
' 整形したカード番号を設定 (1回の出力 (Print) で前列を出力する)
' 文字列を連結して1行にすればよい
' 性別の出力部分はGetGender関数を呼び出せばよい

' 出力ファイルを閉じる

' シートのセルA1を選択しておく
End Sub

' ファイル存在確認
Function CheckFileExist(strData As String) As Boolean
' ファイル存在確認
' ファイルが存在する場合はtrueを設定する

' ファイルが存在する場合はfalseを設定する
End Function

' ファイル削除
Sub DeleteFile(strData As String)
' ファイルを削除する (削除対象ファイルが存在しているフォルダに権限がないとエラーになる)
End Sub

' 性別変換取得
Function GetGender(strData As String) As String
' 性別判定
' 1の場合は男性を戻り値に設定する

' 2の場合は女性を戻り値に設定する

' 3の場合は法人を戻り値に設定する
End Function

```